

日高くるくるねつと
くるくるニュースレター

Vol. 19 2018 年初秋号



くるくる果樹園隊

冬の寒さで枯れたと思っていた枇杷が、
根元から新しい芽を出し、生きていました。(Na)



ブドウ



ブラックベリー



枇杷

こうして、田んぼの作業や畑の作業をみんなとやっていくなかで、一粒一粒のお米や野菜には、農家の人達の御苦労があり、光線・水・肥料などの恵みにあふれている事が分かってくる。

それを感謝していただくと、一粒一粒のお米の本当の味が分かるのでしようね。

子どもの頃、田んぼでタニシやサリガニ、ドジョウを捕まえて遊んでいた頃を久しぶりに懐かしく思い出しました。今では、アグレッシユ日高直売所や住宅地へと、景色は様変わり。

けど、清流の『くるくるの棚田』周辺は、変わらない景色!!
里山もいいですね~!(^^)! 山や川。草や花。同じように見えている花も、去年とは違う花。

この一輪の花や苗が精一杯生きているように、私たちも精一杯生きて行きたいものですよね(^^)/^^

そんな、人間に四季折々の喜びを与えてくれる大いなる自然に感謝しながら、田んぼでいっしょに、心のリセットしてみませんか? (Ni)



果樹園のかうたち

くるくる農業隊

大豆の種蒔き

2年前、ほとんどが猪のご馳走となってしまった大豆。去年は電気柵の力を借りて無事収穫する事ができました。

今年も6月末に小麦を収穫した後の高岡の田んぼだった場所に、7月8日に6回目の種蒔きを行いました。

前日、地面に少し伸びてきた草を刈って、とりあえずの準備は完了。(大豆は肥えた土地は嫌うので、肥料は入れません)

当日は早朝から紙さんが三角ホー(鍬)で種を蒔く溝を掘ってくれました。大変な作業なので、紙さんは汗びっしょりでした。

昨年収穫した大豆を溝に3粒ずつ、40cm間隔に置いていくと、その後を力自慢の庭師の西村さんが、鍬でさーささっさつと土を被せます。

休みなく土を被せ続け、3人で大豆を蒔いているのに直ぐに追いつきます。

土を被せた上を足で踏んでいくのかと思っていました。足で踏むのは、その後の成長には良くないと。雨の為に地面はしっかりと水を吸っていました)平鍬で優しく押さえていき、丁寧な作業が出来たのではないかと思います。これも、たくさんの人手があったからこそです。

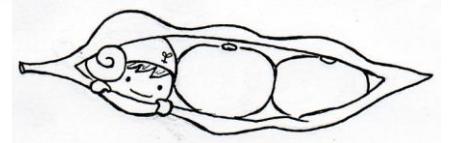
7月8日青空の元、高岡の畑に大豆の種蒔きをしました。

種を蒔く個所の溝切は、ほとんど紙さんにお任せして、その後を追うようにみんなで1か所3粒ずつ大豆の種を蒔き、土を被せていきます。大豆の間隔は約40センチ。人が増えるにつれて、溝を切る人、種を蒔く人、土を被せる人と別れる感じで3、4時間かかったでしょうか。

最初、お日様は山の向こう側で涼しかったのですが、時間と共にお日様が昇ってくると暑いなの。今年6月中に梅雨が明けちゃってしまっていたので真夏の暑さでした。適当に休憩しつつ、汗だくになりながら、無事種蒔き作業を終了。作業終了後に食べたスイカと桃、イマココのパンがおいしかったです。

みなさんお疲れさまでした。(Y)

7/14 写す。7/8に蒔いた種が、ほら、もうこんなに大きくなって。美味しいおいしい枝豆、味噌、納豆になるのだよ！ (Y.M)



くるくる間伐隊

地域に貢献する間伐隊

清流マーケットに近い山林で新たな間伐要望があり、7月の作業は皮むきを行いました。総勢4名でしたが、涼しい木陰の中での作業(でも暑かった~)を楽しみました。素直に剥ける皮がほとんどですが、中には剥き辛い皮もあり悪戦苦闘する場面もありました。でも、今回初参加で田舎移住を考えているWさん、すっごく楽しんでました。伐採木は薪に、中には建材としての活用が可能な材もあります。地域の要望に貢献する間伐作業。都合のつく方、体力づくりと森林浴を兼ねて参加してみませんか。(S)

小麦収穫

梅雨の晴れ間、小麦収穫は照りつけるおひさまに大汗かきながらの作業でした。たまにしか参加しない小生を笑顔で迎えてくれて恐縮しながらも、刈り取りから始まり、脱穀、もみすり、唐箕と進めていくと黄金色の小麦が現れました。収穫の喜びここにあり。よくぞ育ててくれました。この小麦が何に変身してくれるのか楽しみです。(A)

田んぼ

もう10年以上前。南アルプスの塩見岳から下山してバスで駅に着いた時。伊那大島だったろうか。電車の時間が迫っていて、サックの中身をバババツと出して財布を見つけ、ドドドツと押し込んで電車に乗り込んだ。暫くしたら車掌さんが来て「もしかして、携帯電話、駅にお忘れでは？」・・・『あつ。』

駅員さんが電車に連絡してくれたらしい。「もし時間があれば、次の駅で待ってもらえば10分で下りが来ます」(JRはありがたい)

降りた駅は無人駅。晴れて暑い暑い。駅は簡素な待合室だけの想像するままの無人駅。遠くの谷あいの下には天竜川が流れているかな。

線路のすぐ脇まで田んぼが広がって山が遠く高いものはなく、稲穂が出そろったころの新しい畳の部屋の匂いしかしない。風が稲穂を揺らすだけの無人駅。

誰もいないし、電車は10分後。そりゃ、やるよ。ホームに座って足を線路側に投げ出してみる。この姿をホームの隅から遠景で撮影したら。はい、青春18きっぷのポスター。

田んぼのある風景って、みんな好きですね。

東北出身の知り合いが言うには、東北新幹線からみえる田んぼ風景が好きだと。特に代かき後の田んぼは「キラキラして素晴らしい」らしい。東京に出て来てからはパソコンのキーボードしか触らないくせに。

そう言えば『絶対に残したい日本の風景100選』的な企画には、必ず〇〇棚田とか〇〇の千枚田とかありますね。

イイものですよ。見てるぶんには。

今回は『田んぼは見るもので、やるもんじゃない』という話・・・おいつ！ (T)



イワダレソウ、
もつともつと増えて、
蜜蜂の蜜源に。

(Na)

小父さんのつぶやき

困った！ いつもはあまり苦勞せずに文章が浮んでくるのに、今回は、暑さのせいかな？ここへきて雑草の伸びる速さが増して草刈りが追いつかないせいかな？

頭の中が真っ白です！

5月の終わり頃に中学のクラス会があり、初めて参加。51年ぶりに会う顔は、違っている様でいて覚えのある顔。(一番違っていたのは自分でした。中学時代は色白のふっくらした、のほほんとした、釣りに夢中な少年でしたから)

まだ元気な担任の先生を中心に、一次会の後全員でカラオケへ！楽しい時間を過ごしましたが、最後に先生が、

「60代をどう過ごすかが大切。70までくれば、後は比較的楽。規則正しい生活と、運動、きちんとした食事。俺も頑張るから、みんなも頑張れ！」との言葉。

卒業の時、50名いたクラスの仲間で所在の分からない者を除いて、クラス会が行われた日までに3人、そして6月末に同じ高校へ進んだ仲の良かった友だちが、あつちの方へ行ってしまった。告別式に行ってきましたが、同期の者との別れは覚悟していた以上にきつい！

自分の為であることはもちろん。他の人の為にも、自分の生活に気をつけて過ごしていかなばと思います。

日本の国も、よその国の顔色ばかりを気にしている場合じゃあないと思うのですが。

今に神風が吹いて、この国が沈んでしまわないか心配です。

(H.M)



◎くるくるカレンダー 今後の予定◎

日にち	時間	プロジェクト	活動内容	活動場所
2018年 8月				
1日(水)	【東北応援隊】	9時～11時	武蔵台くるくる市場に出店	武蔵台ショッピングセンター
4日(土)	【畑の学校】	9時～11時	畑の学校	栗坪畑
4日(土)	【農業隊】	8時～12時	大豆の畑の除草作業	高岡畑
5日(日)	【農業隊】	8時～12時	大豆の畑の除草作業 田んぼ・畑の草刈作業	高岡畑・栗坪畑・清流 田んぼ
5日(日)	【間伐隊】	10時～12時	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
12日(日)	【農業隊】	8時～12時	田んぼの除草作業	清流田んぼ
18日(土)	【畑の学校】	9時～11時	畑の学校	栗坪畑
20日(月)	【農業隊】	8時～12時	そばの種まき	栗坪畑
26日(日)	【東北応援隊】	17時～19時	清流星空マーケットに出店	森の果樹園
2018年 9月				
1日(土)	【畑の学校】	9時半～11時半	畑の学校	栗坪畑
1日(土)	【農業隊】	8時～12時	菜種の畑の準備作業	栗坪畑
2日(日)	【農業隊】	8時～12時	田んぼ・畑の草刈作業	高岡畑・栗坪畑・清流 田んぼ
2日(日)	【間伐隊】	10時～12時	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
5日(水)	【東北応援隊】	9時～11時	武蔵台くるくる市場に出店	武蔵台ショッピングセンター
8日(土)	【畑の学校】	9時半～11時半	畑の学校	栗坪畑
9日(日)	【農業隊】	9時～12時	菜種の種まき	栗坪畑
15日(土)	【畑の学校】	9時半～11時半	畑の学校	栗坪畑
29日(土)	【農業隊】	9時～12時	菜種の畑の除草作業	栗坪畑
30日(日)	【東北応援隊】	10時～12時	清流青空マーケットに出店	森の果樹園
2018年 10月				
3日(水)	【東北応援隊】	9時～11時	武蔵台くるくる市場に出店	武蔵台ショッピングセンター
6日(土)	【畑の学校】	9時半～11時半	畑の学校	栗坪畑
6日(土)	【東北応援隊】	10時～15時	あいあいまつりに出店	高麗の郷
7日(日)	【農業隊】	8時～12時	田んぼ・畑の草刈作業	高岡畑・栗坪畑・清流 田んぼ
7日(日)	【間伐隊】	10時～12時	間伐・山の整備作業	くるくる事務局集合
13日(土)	【農業隊】	9時～12時	お米の収穫	清流田んぼ
20日(土)	【畑の学校】	9時半～11時半	畑の学校	栗坪畑
20日(土)	【農業隊】	9時～12時	えごまの収穫・脱穀	高岡畑
21日(日)	【農業隊】	9時～12時	お米の脱穀	清流田んぼ
28日(日)	【東北応援隊】	10時～12時	清流青空マーケットに出店	森の果樹園



3月に
関矢さんが
挿し木した
イチジクです。

日高くるくるねつと

日高くるくるねつとは、2011年の震災・原発事故を受けて、「何かしたい」と思った日高市内外の有志が集まって誕生したグループです。自分たち自身の暮らしを見つめ直し、足元にある豊かな自然資源(太陽・水・田畑・山林など)を活用・循環させながら、人と人とが手を携え、自立した豊かな暮らしをみんなの力で築いていくことを目指しています。

◎日高くるくるねつと メンバー募集中!◎

本ニュースレターをお読みにになり、参加してみたい活動がありましたら、お気軽に以下までお問い合わせください♪

日高くるくるねつと事務局

日高市清流 117 TEL:042-982-5023 E-mail:kurukuru_hidaka@yahoo.co.jp
ホームページ:http://kurukuru-net.jimdo.com/

